

「政治家として身を立てる上で最も重要な素質は何だと考え
ますか？」

平成 29 年 1 月 10 日

●ぎんなんさんからの質問

政治家として身を立てる上で最も重要な素質は何だと考えますか？

●西田昌司の答え

私は毎年、元旦に書初めをしています。今年は「忠恕」という言葉を書きました。この言葉は『論語』の中に出てきますが、孔子が弟子から「人間にとって一番大切なものは何ですか？」と問われた際に「夫子の道は忠恕のみ」と答えたとあります。

「忠」は「(真ん) 中の心」と書くように「素直に、誠意や真心を持って、良心に従って物事に取り組む」といった意味ですし、一方で「恕」は「女(性)の(優しい)心」と書くように「優しい心を持って人を許し、困った人がいれば手を差し伸べる」といった意味です。よって「忠恕」とは「素直に物事を見て、困った人がいれば自分の良心に従って手を差し伸べ、世の中を正していく」といった意味になります。

損得勘定に惑わされずに真っすぐ素直に物事を見るというのは、簡単なようで一番難しいことです。我々が生きるこの世の中には様々な利害関係がありますし、どうしても損得勘定によって行動してしまいがちです。そういったしがらみを断ち切って真正面から物事を見るという、ある意味で子供のような純真な心を大人が持つのは容易なことではありませんが、政治家が損得勘定で動いてしまったら終わりですし、政治家は「忠恕」の心を最も大切にしなければなりません。

このような思いで今年は「忠恕」という言葉をしたためたのですが、「忠恕」の心を持ってこれからも議員活動をする所存です。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>